

身障ぐんま

しんしょう No. 111 2025 1月号

新年のあいさつ

公益社団法人 群馬県身体障害者福祉団体連合会

会長 杉田 安啓



あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、新しい生活様式の定着にも関わらず、私達のまわりではインフルエンザやマイコプラズマ感染症などに不安を感じている昨今であると思いますが、感染予防のために手洗い、うがい、手指の消毒をこまめに励行しましょう。

さて、障害者差別解消法の施行から九年を迎えますが、まだまだ県民の間に理解が進んでいないと思っています。

身障連としては行政機関や関係機関と共にこの

障害者差別解消の啓発を一層進めていかなければなりません。

大切なことは、障害のある人もない人もその人らしさを認め合い共に生きる社会づくりをすることだと思います。

私共身障連は、一日も早く共生社会の実現を目指し、障害者の社会参加を更に進めていく考えです。

会員の皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

目 次

P1 …新年のあいさつ

P2 …新年知事あいさつ

P3 …第75回群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会

P4 …相談員研修

…合理的配慮の提供が義務化されました!

P5 …身体障害者特別研修会

…令和6年度日身連関東甲信越静ブロック協議会

身体障害者相談員研修会

P6 …第22回群馬県身障連グラウンド・ゴルフ大会

P7 …JR「ジパング倶楽部特別会員」のご案内

P8 …群馬県障害者情報化支援センター／編集後記

新年知事あいさつ



群馬県知事 山本 一太

明けましておめでとうございます。

県民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、改めて気持ちを引き締め、県政の基本政策として掲げている「県民幸福度の向上」「新群馬の創造」「群馬モデルの発信」の実現など、新・群馬県総合計画の推進に全力を尽くしていく所存です。

去年は、パリオリンピック・パラリンピックで、群馬県ゆかりの選手たちがメダル獲得や入賞など大きく活躍し、若者たちの活躍が私たち県民に勇気と大きな感動を与えてくれた1年だったと思います。

佐賀県で開催された国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会においても、本県選手団が実力を十二分に発揮し、たくさんの競技で優勝を飾りました。

障害福祉関係では、4月から、障害のある人に対する合理的配慮の提供が、民間事業者等にも法的義務となり、群馬県においても障害の有無によって分け隔てられることのない共生社会の実現に向けて、官民一丸となった取り組みが進められました。群馬県の障害施策の基本方針である「バ

リアフリーぐんま障害者プラン8」の推進と併せて、県が実施する取り組みに対して、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、子どもたちの非認知能力の育成やインクルーシブ教育の普及、多文化共生・共創の推進、医療提供体制の拡充や福祉施策のさらなる充実、災害レジリエンスの強化や安全安心を支える社会基盤整備など、県民の皆さまに身近な施策を着実に進めてまいります。

知事就任以来、限られた資源で最大限の効果をあげる「ワイズスペンディング」を実践してきました。引き続き県民の皆さまとの対話を大切にして、広くご意見を伺いながら、デジタル化による行政改革などを積極的に進め、財源や人的資源を生み出し、県民幸福度の向上につながる取り組みに集中させていきます。

結びに、この1年が群馬県身体障害者福祉団体連合会の皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

令和7年1月1日

第75回群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会

■開催日：令和6年12月11日（水） ■場 所：群馬県社会福祉総合センター

第75回公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会福祉大会を群馬県社会福祉総合センターにおいて開催し、物故者に対する黙祷、杉田会長の挨拶に続き、表彰式を行いました。

表彰式では、受賞者を代表して、一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟の森滋雄さんから謝辞が述べられました。

表彰式の後、群馬県知事山本一太様（副知事津久井治男様代読）、群馬県議会議長須藤和臣様、群馬県社会福祉協議会長川原武男様からご祝辞をいただきました。

続いて行われた大会宣言及び大会決議では、杉田会長が議長となり、大会宣言案を根岸副会長が読み上げ、



大会決議案を早川副会長が提案し、いずれも満場一致で採択されました。

表彰関係

＜団体功労者＞	萩原 弘子	高崎市身体障害者団体連合会
	高柳 正綱	みどり市身障者連盟
	倉田 房江	片品村身体障害者の会
	茂木 勤	（公社）群馬県視覚障害者福祉協会
＜自立更生者＞	森 滋雄	（一社）群馬県聴覚障害者連盟
	林 正夫	高崎市身体障害者団体連合会
	真柄 定夫	群鈴会



大会宣言

コロナ禍を越え、社会・経済活動の変化が進展する中、多くの会員や関係者とともに、第75回福祉大会を開催することができた。

群馬県身体障害者福祉団体連合会は「障害者権利条約」を踏まえ、障害者の自立と社会参加の促進を目指し、活発な活動を続けてきた。

本年4月には、事業者に対し社会的障壁の除去の実施について、必要かつ合理的な配慮をすることを義務付ける「障害者差別解消法」が施行された。

同法の実効性を高めるとともに、地域住民相互の理解を深め、心のバリアフリーの普及を進めていくためには、私たち一人ひとりが主体となって取り組み、改善・解消すべきことを伝えていくことが重要である。

我々は、障害の有無にかかわらず、一人ひとりが互いの人格と個性を尊重し合い、いきいきと輝く共生社会を実現できるよう、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

大会決議

- 1 人格と個性を尊重し合う、地域共生社会の実現をめざそう
- 2 障害者差別解消法の理解・啓発を促進しよう
- 3 安全・安心な生活環境の確保に取り組もう
- 4 身体障害者相談員の活動強化と相談支援の充実を進めよう
- 5 共に仲間を増やし、組織の活性化を図ろう

ピノ・マンドリーノ演奏会

式典につづきピノ・マンドリーノさん（ファーストマンドリン伊藤真弓さん、セカンドマンドリン武井暁子さん、マンドラ吉田智之さん、ギター内山慶一さん、ギター澤田稔さん）による演奏会が行われました。映画音楽から懐かしい歌謡曲等の演奏を、聞くだけでなく皆さん声を合わせて歌うなど楽しい時間を共有できました。



相談員研修

■開催日：令和6年9月11日（水）

■場 所：群馬県社会福祉総合センター

県内の障害者相談員の方々を対象に、「障害者相談員研修会」を群馬県社会福祉総合センターで開催しました。

杉田会長と県障害政策課齊藤猛課長からご挨拶をいただき、「障害のある人への理解の促進と差別の解

消の推進について」と題して、県障害政策課社会参加推進係の相馬義昭係長より講演をいただきました。令和6年度から事業者にも義務づけられた、合意的配慮の考え方やその具体例等を分かりやすく解説していただきました。



令和6年4月1日から障害のある人に対する 合理的配慮の提供が義務化されました！

法律・条例	行政機関等	民間事業者
不当な差別的取扱い	禁止	禁止
合理的配慮の提供	義務	努力義務→義務

民間事業者とは、目的の営利・非営利、個人・法人を問いません。

一般的な会社だけでなく、個人事業者や対価を得ない無報酬の事業、非営利事業を行う社会福祉法人やNPO法人も対象になります。

障害者差別解消法・条例は、障害のある人もない人も、分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会（共生社会）の実現を目的とし、「不当な差別的取扱い」の禁止、「合理的配慮の提供」を定めています。

身体障害者特別研修会

■開催日：令和6年12月11日(水) ■場 所：群馬県社会福祉総合センター

身体障害者特別研修会を群馬県社会福祉総合センターで開催しました。

杉田会長の挨拶に続いて、来賓の県障害政策課齊藤猛課長からは手話を交えてご挨拶をいただきました。

研修は、県知事戦略部 デジタルトランスフォーメーション課関口直輝主任から「マイナンバー制度・マイナンバーカードについて」講演が行われました。熱心に耳を傾けてくださった皆さんからたくさんの質問が出ましたが、丁寧に回答をいただきました。

足を運んでくださった皆さんありがとうございました。今年もよろしくお願ひいたします。



令和6年度 日身連関東甲信越静岡ブロック協議会 身体障害者相談員研修会

■開催日：令和6年8月2日(金) ■場 所：茨城県水戸市ホテルレイクビュー水戸

関東甲信越静岡ブロックの身体障害者相談員研修会が、茨城県水戸市のホテルレイクビュー水戸で開催され、「当事者の声を聴く～相談員の役割と求められる技術とは～」と題して、東北福祉大学総合福祉学

部社会福祉学科教授で(社福)茨城県社会福祉協議会会長の竹之内章代氏から講演をいただきました。本県からも、事務局職員が参加しました。

関東ブロック身体障害者相談員研修会に参加して

石澤 よしみ

令和6年8月2日(金)水戸市で行われた研修会に参加し、相談員としての役割や必要な技術について多くの新たな気づきを得ました。

特に、開かれた質問と閉じられた質問の違いを理解し、実際に応用することの重要性を学びました。また、相手の意見や感情を尊重しながら信頼関係を築くことの大切さも学びました。

以前は、相談者の話を聴きながら、何か言わなくてはと焦ることが多かったのですが、相手の話をしっかり聴くことが最も重要であると改めて認識しました。

この学びを基に、その人が持つ力を引き出せるような相談支援をしたいと考えています。また、チーム全体で連携して支援に取り組む姿勢が大切だと感じました。

今後は、研修会で得た知識と技術を活かし、相談者の主体性を尊重しながら、オーダーメイドの支援を実践していきたいと思ひます。

第22回群馬県身障連グラウンド・ゴルフ大会

■開催日：令和6年11月17日(日)

■場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ

グラウンド・ゴルフ大会を群馬県立ふれあいスポーツプラザにて、開催しました。

今回も、県グラウンド・ゴルフ協会の皆様に、会場の設営から当日の大会運営まで全面的なご協力をいただきました。また今年から、済生会前橋病院様のご協力を得て、皆さんのプレーを看護師おふたりに見守っていただきました。

雨予報が続き心配された中、11月とは思えない暖かな天気恵まれて、多くの方々のご支援ご協力により、おかげさまで楽しく有意義な大会となりました。

昨年に続き優勝された小林さんから寄稿をいただきました。



第22回群馬県身障連グラウンド・ゴルフ大会について

小林 正雄

県グラウンド・ゴルフ協会、県身障連の皆様の指導により、無事に大会が終了できました。ありがとうございました。

私事ですが、思ったより良いスコアで回れたので、6位入賞に入れるかなと思っていた所、なんと優勝でびっくり。なんとも言えない気持ちでした。やっぱり優勝は嬉しいですね。これからも皆さんと共に楽しく健康作りに励みたいと思います。

何より私が一番心に残ったことは、視覚障害者の方々が鈴の音だけでホールに向かって打てることです。目の見える人とさほど方向がくわらないことでした。

コースの感想を振り返りますと、難しいコースのため皆さん感覚がつかめないうちに終わってしまったのでしょうか。関係各位の皆さん大変お疲れ様でした。



J R 「ジパング倶楽部特別会員」のご案内

◆加入資格 身体障害者手帳をお持ちで、男性満 60 歳以上、女性満 55 歳以上の方。

◆年会費 1,400 円

◆割引について

1. 割引対象となるきっぷ

J R 線を、「片道、往復、連続」で 201km 以上利用される場合、特急券・グリーン券・指定券などが割引されます。(新幹線「のぞみ」や「みずほ」など一部の列車は割引とされないきっぷがあります。)

2. 割引の内容

3 割引 (ただし、新規会員 (期限切れ会員を含む) は、初回～3 回までは 2 割引、4 回～20 回は 3 割引。)。なお、購入は 20 回までとなります。

3. 割引としない期間

4 月 27 日～5 月 6 日、8 月 10 日～8 月 19 日、12 月 28 日～1 月 6 日の全ての期間。

4. 介助者の割引

第 1 種身体障害者の方で、介助者が同行される場合は、介助者も同様の割引となります。

◆お申し込みにあたっての注意点

1. お申し込みをいただいてから、お手元にジパング手帳が届くまで約 4 週間程度かかります。ご旅行の際は余裕をもってお申し込みください。

2. 会員誌などの特典サービスはありません。

3. 1 年ごとの更新のお知らせ等は差し上げていませんので、ジパング手帳の使用期限には十分ご注意ください。

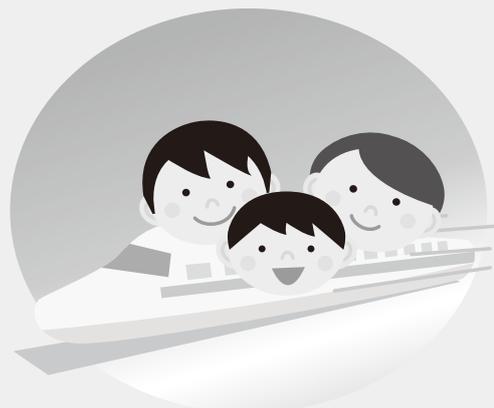
4. 更新は、有効期限の前月の 1 日から有効期限内に手続きを済ませてください。

◆お申し込み方法

公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会にお問い合わせください。

T E L 027-255-6274

F A X 027-255-6275



群馬県障害者情報化支援センター

障害のある人のパソコン利用を支援します。

障害者のIT機器（パソコン、スマートフォン等）利用を総合的に支援することで、障害者の情報収集やコミュニケーションの幅を広げ、自立と社会参加を促進することを目的として設置されました。

当センターでは、障害のある人の支援機器やソフト類の操作体験をすることができます。まずは、当センターへお問い合わせください。

内容

(1) 機器の体験

障害者向け周辺機器やソフトを導入したパソコンを設置しています。操作体験やインターネットの体験もできます。
※来場の際は、事前予約が必要です。



(2) 相談窓口

来場のほか、電話、FAX、メールでの相談に応じています。

①障害者向け機器やソフトの紹介、使い方についての相談。

②その他、障害のある人がパソコンを使ううえでの相談。

障害のある人だけでなく、ご家族、関係者のかたもご相談ください。

(3) その他

障害者のIT機器利用支援および活用促進のための必要な情報収集、情報提供を行うとともに、当センターの目的に資する事業の企画と実践を行います。

開館日・開館時間

月曜日～金曜日 9時00分～17時00分

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休館。

※変更になることがありますので、来場の際は事前にご確認ください。



問い合わせ先

〈住所〉 群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター2階

〈電話〉 027-251-7129 〈FAX〉027-255-6275

〈メール〉 gunmakenshinren1@xp.wind.jp



編集後記

1月13日に行われた全国高校サッカー選手権大会では、国立競技場の5万8千人を超える大観衆が見守る中、前橋育英がPK戦で流通経済大柏を下し、2度目の全国制覇を遂げました。昨年の選抜高校野球大会での健大高崎の優勝、

パリ2024オリンピック・パラリンピックやSAGA2024国スポ・全障スポなどに引き続いて、今年もスポーツ関連で群馬県勢の活躍が期待できそうです。

パラスポーツ関連では、全国障害者スポーツ大会（10月・滋賀県）、東京2025デフリンピック（11月・東京都ほか）が開催されます。また、2029年に群馬県で開催される「湯けむり国スポ・全スポ」に向けたバリアフリー調査も始まっています。

誰もがスポーツに参加でき、楽しむことができる社会の実現に向けて、力を合わせていきましょう。